

-いのちを守る-

遠藤守レポート

都議会公明党:新宿区西新宿 2-8-1 TEL: 5320-7250 / FAX: 5388-1787 <http://endomamoru.com> お気軽にご意見・ご要望をお寄せください。

「数が通り、道理が引っ込んだ」

東京都議会の第2回定例会は6月16日閉会しました。悪質な性描写のある漫画等の販売方法を規制する「青少年健全育成条例の改正案」や、9日に行われた代表質問などについて、概要を紹介します。

●健全条例、民主らの反対で否決●

「都青少年健全育成条例の改正案」が、16日の都議会最終本会議で、民主、共産などの反対で否決されました。

改正案の狙いは、子どもを性的な対象に描いた悪質な漫画やアニメが、容易に子どもの手に渡らぬよう、販売業者に区分陳列などを求めるもの。

改正案は3月の第1回定例会にも提出されていましたが、民主党などから「文言が分かりづらい」と批判が挙がったため、公明、自民両党が修正案を提出しました（無責任にも、当の民主党は「代案」を示していません）。また、この間、都小学校PTA協議会などが4万5000筆の署名を添えて各党に対し、早期成立を求めています。

改正案否決の後、石原知事は記者団に対し、「数が通り、道理が引っ込んだ」（日経17日付）と述べ、民主党などの対応に強い不快感を示しました。

●「新拠点」活かし、整備加速を●

9日の各党代表質問には、公明党から野上純子議員（葛飾区選出）が登壇し、10月に

国際化を迎える羽田空港の跡地活用にも言及しました。

質問では、品川、秋葉原に続いて、昨年7月新たに、都の「新拠点」に指定された羽田空港の跡地活用について、臨海副都心とも連携して、都税減免による外資系企業（投資）の誘致（促進）や、海外市場を視野に入れた高度医療機関の整備などを推進するよう具体的に提案。都側は、検討を加える考えを示しました。

●「花粉対策募金」を都に手渡す●



「東京都議会花粉症対策推進議員連盟」の一員である遠藤守は、第2回定例会最終日の16日、「花粉の少ない森づくり募金」を議会局事務局職員に手渡しました。

議連が取りまとめたこれらの募金は、後日、（財）東京都農林水産振興財団に寄付され、花粉の少ない杉に植え替えるために利用されます。